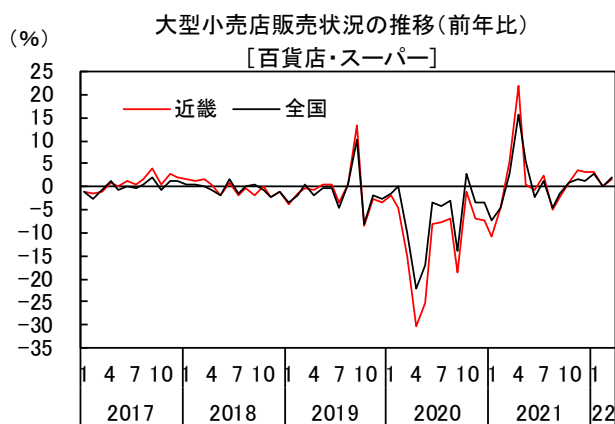
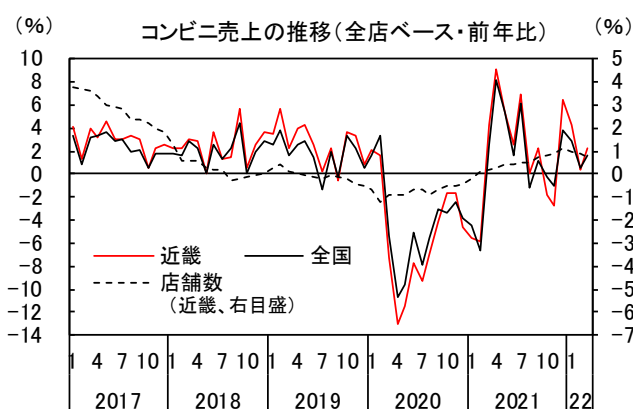


## 関西の景気トピックス【消費関連（22年3月）】

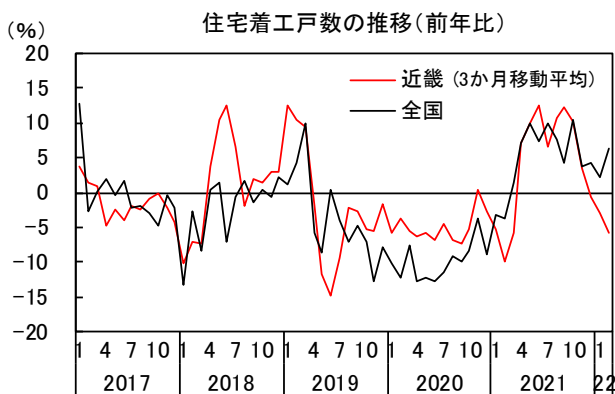
- 22年3月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比プラス1.5%と6か月連続の増加となった。前年の反動に加えて、まん防の解除等に伴い、緩やかな回復が進んだとみられる（業態別には百貨店が3.8%増、スーパーが1.0%増）。
- コンビニ売上（経済産業省）の3月は、全店ベースで前年比プラス2.3%と4か月連続で増加した（コロナ前比は1.1%減）。プラス圏での推移が続いているものの、基本的には前年の反動が主因とみられる。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の2月は、前年11月まで8か月続いた増加の動きが一巡し、前年比マイナス5.7%と3か月連続の減少となった（3か月移動平均）。内訳としては、持家、貸家、分譲の全てで減少している。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向は、大阪は直近で前年を上回っているものの、基本的には前年の反動とみられる。感染収束後の消費の回復には所得の増加が不可欠であるが、現状はコロナ前の水準を下回る状況から、まだまだ厳しいといわざるを得ない。



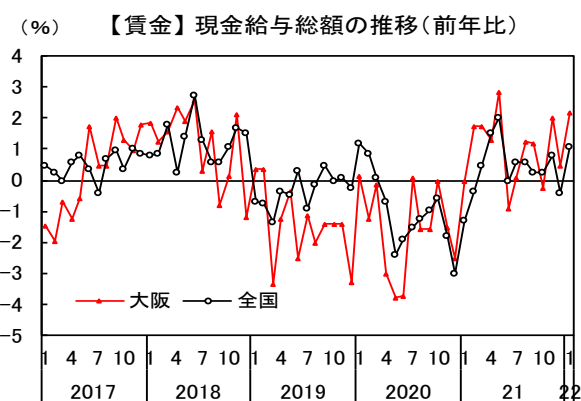
（出所）経済産業省「大型小売店販売状況」



（出所）経済産業省



（出所）国土交通省「建築着工統計」



（出所）厚生労働省「毎月勤労統計調査」